

西独、ダイムラー・ベンツ社の突然の要請がきっかけとなり、SA-Λのプロフェッショナルが誕生した。

1982年10月、西ドイツの世界的な自動車メーカー、ダイムラー・ベンツ社から突然一通の手紙が届きました。「メルセデス・ベンツの開発過程において、STAXのSR-Λを使いたいので、相談にのって欲しい」というのがその内容でした。クルマの開発にどうやって使うのだろう…。スタッフたちは興味深々で、「とにかく、できる限りの協力をする」旨の返事を送ったところ、その年の12月、技術担当重役=ランドマン氏の訪問を受けることになったのです。

ダイムラー・ベンツ社から要求された仕様は、とてもスピアなものでした。再生周波数帯域は、低域8Hz以下・高域50kHz以上(SR-Λ現製品は8Hz~35kHz)。ダイナミック・レンジも現製品より7dB以上広げます。もちろん音質は、いつそうの低歪化を図ってさらに向上させたい、ということです。そ

して、私たちの最大の関心事である用途について
は、次のようなものでした。開発中のクルマのエンジンやトランスマッショーン、サスペン

ションなどから発生するノイズをダミーヘッドマイクでデジタル録音し、社内に設けられた音響研究用試聴室で多くのテスターによりヘッドフォンで試聴し、車内外騒音等の研究に役立てるというのです。

「私たちは、世界中のヘッドフォンを聴き比べて、これを選びました。SR-Λは音楽を聴くヘッドフォンとして本当に素晴らしいだけでなく、計測器としても使用できるSPECを持っている。もうひと息、どうか、私たちの要求を実現して欲しい。私たちスタッフは、ランドマン氏のいかにもドイツ人らしい



真摯な考え方

方やクラフトマンシップに溢れるものづくりの姿勢など、共鳴と共に感動を覚えずにはいられませんでした。「この次に会うのが楽しみです」と、いい残して氏はドイツに帰っていました。このようにして、ダイムラー・ベンツ仕様のSR-Λの開発が始まり、同時にアンプ部門でも新しいΛに対応するSRM-1の再開発がスタートしました。発音ユニットと電極の間隔、精度、張力、バイアス電圧の設定、電子部品の吟味、回路の変更など、多くの部分について検討と試作が繰り返されたのです。ほぼ1年間に、数度にわたって発音ユニットの試作品がシュトゥットガルトのベンツ研究室に送られ、ランドマン氏、アーヘン大学のゲニュート博士他のメンバーにより、実験と試聴が繰り返されました。

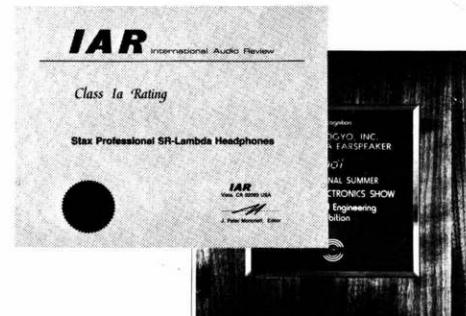
さらに、私たちはもうひとつクリアにしなければならない問題があったのです。たった1台の試作モデルを製造することは、比較的やさしいのですが、いくら社内の限定仕様とはいえ複数個の量産ということになれば、そのための測定器、工具、治具の設計、生産ラインの整備が必要になります。私たちは、早速それらの作業にとりかかりました。そして、ついに1982年8月、SR-Λ Professional+SRM-1、MK-2、Professionalと命名されたベンツ仕様モデルが完成したのです。

このようにして、本来はノイズ分析用として開発されたSR-Λ Professionalですが、音楽再生用としても、正確さ、バランスの良さ、ダイナミックレンジの広さなど他の追随をゆるさない高性能をもっていたのです。アメリカの権威あるオーディオ誌I.A.R(International Audio Review)から2度にわたる受賞。そして、日本はもとよりフランス、デンマーク、ドイツ、イタリアなど世界各地の雑誌において高い評価を受けるに至りました。いまや、音楽鑑賞用として、またスピーカーシステム調整時のリファレンス用として、内外のオーディオファイルから多大な支持を受けています。



オーディオ誌I.A.R(International Audio Review)から2度にわたる受賞。そして、日本はもとよりフランス、デンマーク、ドイツ、イタリアなど世界各地の雑誌において高い評価を受けるに至りました。いまや、音楽鑑賞用として、またスピーカーシステム調整時のリファレンス用として、内外のオーディオファイルから多大な支持を受けています。

ダイムラー・ベンツ社との縁がもとで完成したProfessional Series。私たちのイヤースピーカーシステムの最高峰として、いま、自信を持って世に送り出しています。



プロフェッショナルシリーズの充実で、さらに使いやすくなったイヤースピーカーたち。

SRD-7/MK-2 ¥17,000
Adapter for Earspeaker

SR-X/MK3 Pro. ¥27,000
Electrostatic Earspeaker(High Bias Voltage Type)



SRM-1/MK-2 Pro.
Driver Unit for EarSpeakers

SR-X/MK3 Pro. 限りない分解能と透明度。SR-X/MK3に磨きハイバイアス型コンデンサーイヤースピーカーをかけ、さらに高性能化を果たしました。発音ユニットには、過渡応答の速い1.5ミクロン振動膜を使用。

SRD-7/MK-2 ハイバイアス電源回路を内蔵。従来のSRプロシリーズ対応イヤースピーカー専用アダプター「SRD-7/MK-2」はもちろん、プロシリーズ・イヤースピーカーの高性能が手軽に楽しめるアダプターです。

SR-α Pro. SR-Λのケージ・コンストラクション(鳥かご構造)ハイバイアス型コンデンサーイヤースピーカーを応用し、ユニークなエンクロージュア型とすることで音楽を、より豊かに再生します。

SR-Λ Professional 規格 / ●型式:ハイバイアス・コンデンサー型 ●駆動方式:ブッシュブル ●周波数特性:8~50,000Hz ●インピーダンス:12kΩ(10kHz) ●出力音圧レベル:107dB(100V, 1kHz) ●イヤーバッッド:ソフトレザ (交換可能) ●重量:325g(本体のみ)

SRM-1/MK-2 Professional 規格 / ●周波数特性:DC~20kHz 土dB ●増幅度:60dB ●高調波歪率:0.05% (1kHz, 100V) ●入力インピーダンス:50kΩ ●入力レベル:100mV ●最大出力電圧:370V (1kHz) ●ハイアス電圧:580V, 230V ●電源電圧:AC100V ●消費電力:33W ●寸法:W150×H87×D370mm ●重量:2.0kg

*規格・外観は改良のため予告なく変更することがあります。